

## 令和元年度第2回三郷市上水道運営委員会会議録

開催日時 令和2年2月14日（金） 10時00分～11時50分

開催場所 三郷市水道部別棟会議室

出席委員 (10名)

前田雅久委員	戸邊修司委員	山室敏治委員
米たか子委員	吉川淳委員	恩田誠一委員
谷口末子委員	水野美喜子委員	浅賀和雄委員
小島正文委員		

事務局出席者

水道部長	藤丸讓司
業務課長	中村剛
施設課長補佐兼給水係長	平野崇
施設課主幹兼工務係長	金子隆一
業務課総務係長	白石幸弘
業務課料金係長	馬場弘至
施設課施設係長	宮城真司
施設課施設係主査	相原真理子
施設課工務係主査	小宮剛
施設課給水係主査	佐々木康裕
業務課総務係主任	大泉友希
業務課総務係主事	屋敷優

委員会次第

1. 開会
2. 議題
  - 1) 令和2年度三郷市上水道事業特別会計予算（案）について
3. 報告事項
  - 1) 令和元年度12月末現在の水道事業概況について
  - 2) 「第3次三郷市水道事業基本計画改定」の進捗状況について
  - 3) 千葉県館山市への給水車の派遣等について
  - 4) 令和元年度視察研修実施報告
  - 5) 広報・啓発活動について
4. その他
5. 閉会

## 1. 開会

- ・前田委員長 会議に先立ちまして、本日の議事録署名人を山室委員、吉川委員の2名にお願いしたいと思います。

## 2. 議題

### 1) 令和2年度三郷市上水道事業特別会計予算（案）について

- ・前田委員長 それでは本日の議題に入ります。令和2年度三郷市上水道事業特別会計予算（案）について議題といたします。事務局の説明を求めます。
- ・業務課長 《 資料に基づき説明 》
- ・前田委員長 事務局の説明が終わりました。何か質問はございますか。
- ・山室委員 営業収益について、質問します。予算書（案）や各種資料における営業収益は税込額での記載となっておりますが、税込表記が一般的なのでしょうか。
- ・総務係長 ただ今頂いた質問について、回答いたします。予算につきましては、総額での表記をするために、全て税込額で作成いたします。一方で決算書につきましては、税込額で作成する資料の他に、損益計算書など税抜額で表記する資料も含まれております。
- ・前田委員長 よろしいでしょうか、他にございませんか。
- ・恩田委員 資料1「令和2年度三郷市上水道事業特別会計予算書（案）」における、キャッシュ・フロー計算書（P. 12）について質問します。有形固定資産の取得による支出として9億円以上が記載されていますが、どのような資産を取得するのでしょうか。
- ・総務係長 ただ今頂いた質問について、回答いたします。有形固定資産の取得による支出につきましては、資本的支出における建設改良費の税抜額が記載されております。来年度は、布設替工事によって新たに取得する管路や、浸水対策工事等によって取得される浄・配水施設となっております。

・前田委員長

よろしいでしょうか、他にございませんか。

それでは、私からも1点質問があります。来年度は赤字予算の計上となっておりますが、そのことについて、議会等への説明はどのように考えていますか。

・水道部長

ただ今頂いた質問について、回答いたします。来年度の赤字につきましては、第3次三郷市水道事業基本計画改定のための委託費など単年度で増大する費用が大部分を占めております。令和2年度以降の収益的収支の赤字化は、第3次基本計画内で既に予測されていたものでございますが、補填財源残高については見込みを上回る額が確保できております。今後の見通しにつきましては、現在進めている基本計画改定の中で、財政計画等の見直しを行いますので、そういった状況も含めたうえで、議会に対し説明をしていきたいと考えております。

・小島副委員長

そのことについて、過去の事例を紹介します。平成26年度より新たな会計基準が適用されるまでは、三郷市水道事業では例年赤字予算を計上したうえで、議会の議決を得ておりました。キャッシュ・フロー計算書を見ても、16億円以上の現金を補填財源として確保できていることから、赤字になったからといって、直ちに事業の運営に問題が発生するわけではないと考えております。

・前田委員長

ありがとうございました、他にございませんか。

・小島副委員長

企業債の借入れについて、質問します。来年度も企業債を借入れる予定となっておりますが、平成30年度末での未償還残高が32億円、今年度の借入れを含めると、令和元年度末での未償還残高は40億円を上回る見込みとなります。施設の更新を積極的に実施する一方で、令和2年度は赤字予算となっており、今後は更なる減価償却費の増加も見込まれます。本市の財政規模を考慮したうえで、今後の起債計画について、説明をお願いします。

・総務係長

ただ今頂いた質問について、回答いたします。ご指摘のとおり、現在北部第二配水場の更新工事を2か年かけて実施しており、総事業費11億円のうち、8億5千万円程度の起債を予定しております。これにより、今年度末には企業債残高が大幅に増加いたします。

企業債残高の規模を示すものとして、企業債残高対給水収益比率という指標がございます。平成30年度においては、三郷市が168%、全国平均が258%となっており、全国平均と比べて三郷市はかなり低い数値となっております。なお、令和2年度末での見込みは210%となっており、大きく増加しておりますが、依然全国平均を下回る数値となっております。

企業債については、単年度の事業費が高額となった場合に、世代間の公平性や、現金残高を考慮したうえで、借入額を決定しております。今後につきましては、現在改定中の基本計画における施設の更新計画に基づき、過度な借入れとならないよう、安定的で持続的な事業運営を行っていきけるよう努めてまいります。

- ・前田委員長           よろしいでしょうか、他にございませんか。
  
- ・山室委員           資料1における、工事負担金（P. 8）について、質問します。公共下水道関連工事負担金として2千万円が計上されていますが、水道事業と下水道事業は別でありながら、なぜ一方がもう一方の費用を負担するのでしょうか。
  
- ・工務係長           ただ今頂いた質問について、回答いたします。現在三郷市では下水道整備事業に併せ、水道管の布設替工事も同時に行っているものがあります。その際に、未だ更新時期を迎えていない水道管であっても、下水道管布設時に障害となるものについては、管路の付替えを行う必要がございます。その付替工事にかかる費用は、下水道事業が負担すべきものであるため、工事費用相当額を、負担金として資本的収入に計上しております。
  
- ・前田委員長           よろしいでしょうか、他にございませんか。
  
- ・戸邊委員           質問が5点あります。  
1点目は、基本計画改定について、質問します。当初の基本計画に対する、現在の水道事業の進捗状況について、説明をお願いします。  
2点目は資料1における、予備費（P. 7）について、質問します。予備費として5百万円が計上されており、不測の事態に備えるためとの説明がありましたが、過去に予備費を使用した例はあったのでしょうか。  
3点目は同じく資料1における、貸倒引当金（P. 23）について、質問します。未収金3億6百万円のうち、470万円を貸倒引当金として計上していますが、算出根拠とその内訳について、説明をお願いします。  
4点目は資料2「令和2年度予算のポイント」における、早稲田地区での

配水管整備事業について、質問します。同地区における、現在の耐震化進捗状況について、説明をお願いします。

5点目は資料3「令和2年度三郷市上水道事業特別会計予算の概要(前年度比較)」における、企業債について、質問します。企業債の借入について、前年度からの減少が6億円と、かなり大きくなっていることについて、説明をお願いします。

・総務係長 1点目の質問について、回答いたします。近年台風による豪雨など、水道施設が被災するような自然災害が頻発しており、現在北部第二配水場において、浸水対策工事を行っております。このように、当初の基本計画策定時には想定していなかった工事も、一部で必要となっているものがございます。しかしながら、全体といたしましては、概ね計画通りに推移しております。

2点目の質問について、続けて回答いたします。予備費につきましては、予算に計上しておりますが、これまでのところ使用した例はございません。

・料金係長 3点目の質問について、回答いたします。貸倒引当金の計上につきましては、平成31年度予算の編成時における、平成26年2月から平成27年1月調停分の未収金のうちの見込額としております。内訳としましては、時効に伴う消滅、未納のまま無届で転出した場合における徴収停止、及び破産法に基づく破産開始による免責となっており、全体でおよそ900件程度を見込んでおります。

・工務係長 4点目の質問について、回答いたします。早稲田地区は地区全体で配水管延長が55kmほどあり、平成30年度末時点で耐震化が完了した延長は7kmで、全体の13%程度となります。今後も限られた予算の中で、石綿管の布設替えや、他の事業に伴う工事とも並行し、優先的に整備を進めてまいります。

・総務係長 5点目の質問について、回答いたします。ご指摘のとおり、企業債の借入については、前年度からの減少額が6億円と、かなり大きくなっております。これは、今年度は北部第二配水場の更新のために7億円を起債しておりますが、来年度はその分が減るためです。

・前田委員長 よろしいでしょうか、他にございませんか。

・恩田委員 資料3における、総配水量について、質問します。給水戸数は1,000戸増

加しているのに対し、総配水量は 10,000 m<sup>3</sup>減少しています。これは、節水機器の普及によるものなのでしょうか、説明をお願いします。

・業務課長           ただ今頂いた質問について、回答いたします。ご指摘のとおり、近年の総配水量の伸び悩みにつきましては、住宅設備の節水機能の向上によるものと分析しております。区画整理の実施や、既存住宅地の古い家屋が随時建替えられていくことで、一人あたり配水量は、平成 22 年度以降毎年減少しております。この傾向は、今後も継続するものと見込んでおります。

・前田委員長           よろしいでしょうか、他にございませんか。

・戸邊委員           過去の配水量の推移について、説明をお願いします。

・施設係長           総配水量の推移について、説明いたします。三郷市においては、節水機器の普及が進む以前となる、25 年ほど前では、一日平均配水量で 5 万 m<sup>3</sup>、一日最大配水量では 6 万 m<sup>3</sup>を超えていた時期もございました。近年では、渇水による節水の呼びかけや、猛暑による使用水量の増加など、天候の影響で毎年配水量は増減しておりますが、概ね横ばいとなっております。

・前田委員長           よろしいでしょうか、他にございませんか。

・山室委員           先ほど回答で触れておりました、石綿セメント管について、質問します。石綿セメント管の使用や、工事において懸念される人体への影響について、説明をお願いします。

・工務係長           ただ今頂いた質問について、回答いたします。石綿セメント管は、管体を傷つけることで粉末を飛散させない限りは、健康に被害はないとされております。工事の際は折ったり、切ったりはせず、接手部分から抜き取るよう徹底することで、健康被害の発生を防止しております。

・前田委員長           よろしいでしょうか。他に質問はございませんか。

ないようですので、令和 2 年度三郷市上水道事業特別会計予算（案）につきまして、承認することについて異議ございませんか。

《 異議なしの声あり 》

- ・前田委員長 異議なしとのことですので、令和2年度三郷市上水道事業特別会計予算（案）につきまして、承認することといたします。

### 3. 報告事項

#### 1) ①令和元年度12月末現在の水道事業概況について

- ・前田委員長 続きまして報告事項①について、事務局から報告をお願いします。
- ・総務係長 《 資料に基づき①の報告 》
- ・前田委員長 事務局からの報告が終わりましたが、何か質問はございますか。
- ・戸邊委員 報告や、先ほどの説明において、天候による配水量への影響について言及がありましたが、来年度の水道供給の見通しについて、質問します。今年は暖冬となっており、関東でも例年と比べ積雪量がかなり少ないとの話を聞いています。来年度の渇水リスクについて、現時点ではどのように分析していますか。
- ・施設係長 ただ今頂いた質問について、回答いたします。ご指摘のとおり、暖冬等により、山への積雪が少なくなると、春先にダムへと貯まる水量が減り、夏場に渇水となりやすい傾向がございます。近年の例では、平成28年度にも同じく暖冬による少雪で、利根川水系で渇水となりました。しかしながら、その際は市内への配水を制限するには至っておりません。ダムの貯水状況につきましては、暖冬の影響のみではなく、梅雨期の降水量の影響もございますので、現時点では状況を注視している段階でございます。
- ・水道部長 補足説明をさせていただきます。今年度より八ッ場ダムが完成することで、過去の渇水の際とは、状況が異なっている点もございます。今後につきましては、情報収集に努めると共に、渇水の恐れのある場合は、早めの対策を徹底してまいります。同時に、水資源の大切さにつきましても、引続き周知活動を実施してまいります。

## 2) ②「第3次三郷市水道事業基本計画改定」の進捗状況について

- ・前田委員長            続きまして報告事項②について、事務局から報告をお願いします。
- ・総務係長            《 資料に基づき②の報告 》
- ・前田委員長            事務局からの報告が終わりましたが、何か質問はございますか。
- ・山室委員            資料5「第3次三郷市水道事業基本計画改定」の進捗状況」における、想定浸水区域について、質問します。資料には利根川と江戸川の氾濫区域が記載されていますが、中川の氾濫は想定しないのでしょうか。
- ・総務係長            ただ今頂いた質問について、回答いたします。想定浸水区域につきましては、三郷市水害ハザードマップを基に、資料を作成しております。ハザードマップにおいては、利根川、江戸川の他に、中川、荒川もそれぞれ浸水区域を想定しておりますが、市内の水道施設に対する影響の大きさから、利根川及び江戸川の二河川を抽出し、記載しております。
- ・前田委員長            よろしいでしょうか、他にございませんか。
- ・吉川委員            昨年は台風15号、19号と、過去に経験したことのないような台風が来ましたが、市内の施設に対して、被害はありませんでしたか。
- ・施設係長            ただ今頂いた質問について、回答いたします。ご指摘のとおり、昨年上陸した大型の台風15号、19号により、千葉県等では広域で断水被害がございました。本市につきましては、事前に土嚢等を作り風害に備えたことで、今回は被害を出さずに済みました。また、北部浄水場、北部第二配水場及び中央浄水場では、それぞれ非常用の自家発電設備を備えているため、電力供給が停止した場合でも、断水せずに水道の供給が可能です。
- ・水道部長            補足説明をさせていただきます。自家発電設備につきましては、市内の燃料販売事業者と協定を結び、災害時においても安定して発電用の燃料が確保できるよう、対策をしております。また、施設管理につきましては、24時間体制で監視をしており、台風19号の際には職員も出動し、監視体制をとっておりました。今後も、日頃からの災害対策を強化し、安定的な水道供給に努めてまいります。
- ・前田委員長            よろしいでしょうか、他にございませんか。
- ・恩田委員            自家発電施設に対する浸水対策について、説明をお願いします。

- ・水道部長 浸水対策について、説明いたします。現在北部浄水場と北部第二配水場では浸水対策を進めており、今年度は北部第二配水場、来年度は北部浄水場の浸水対策工事を実施いたします。一方で、中央浄水場は施設全体が老朽化しており、浸水対策工事の実施につきましては、施設の耐震化等も併せて現在検討を行っている最中でございます。資料5における、江戸川の想定浸水区域についても、中央浄水場では最大で5mとなっていることから、浸水対策を実施する場合は、それを想定した対策が必要となります。その点も含めて、第3次三郷市水道事業基本計画の改定においては、課題としております。
- ・前田委員長 よろしいでしょうか、他にございませんか。
- ・戸邊委員 浸水対策工事について、続けて質問します。昨年の台風による断水被害の話聞いたところでは、配水池に水は確保できているが、電力がなく送水ができないとのことでした。浸水対策では、想定よりも水位が上昇した場合にも、一定の効果があるのでしょうか。
- ・水道部長 ただ今頂いた質問について、回答いたします。浸水対策工事では、施設の周囲を防水壁で取囲みます。豪雨や河川の氾濫等により、想定よりも水位が上昇し、防水壁を越水する事態となれば、施設は水没いたします。そのため、災害対策につきましては、情報収集や関係各課との連携を一層強め、強靱な水道施設を構築できるよう、努めております。
- ・前田委員長 よろしいでしょうか、他にございませんか。
- ・戸邊委員 資料5における、今後のスケジュールでは、パブリックコメントの実施を予定しています。なるべく多くの意見を得られるよう、広報、周知活動の徹底を、よろしくお願いいたします。
- ・水道部長 パブリックコメントといたしましては、市の広報やホームページにより募集をし、文書、メール及びFAX等で受け付けを行う予定です。市民のみならず、みなさまの貴重なご意見を、可能な限り多く頂けるよう、周知に努めてまいります。

### 3) ③千葉県館山市への給水車の派遣等について

#### ④令和元年度視察研修実施報告

#### ⑤広報・啓発活動について

- ・前田委員長 続きまして報告事項③から⑤について、事務局から順次報告を願います

- ・工務係員 《 資料に基づき③の報告 》
- ・総務係員 《 資料に基づき④の報告 》
- ・総務係員 《 資料に基づき⑤の報告 》

・前田委員長 事務局からの報告が終わりましたが、何か質問はございますか。

・恩田委員 報告事項③における、ペットボトル水の提供について、質問します。館山市に提供したペットボトル水は、市で備蓄していたものなののでしょうか、それとも支援用物資として、新たに調達したものなののでしょうか。

・総務係長 ただ今頂いた質問について、回答いたします。提供したペットボトル水は、水道部で備蓄していたものとなります。2リットルペットボトル水につきましては、2,400本を常時備蓄しており、そのうち2,000本を提供いたしました。提供した分につきましては、その後補充し、現在も2,400本の備蓄体制となっております。

・恩田委員 備蓄しているペットボトル水は、三郷や埼玉県の水なののでしょうか。

・総務係長 こちらのペットボトル水は、市販品となります。

・恩田委員 災害現場ではありますが、少しでも多くの方に三郷の水のおいしさを知ってもらえるとよいですね。また、三郷の水でなくとも、ラベルのデザインに市のマスコットキャラクターをあしらうといった、広報の方法も考えられると思います。

・水道部長 災害用の備蓄用品となりますので、保存期間等を考慮したうえで物資を調達しております。しかしながら、災害現場では多くの自治体が応援として活動いたしますので、少しでも本市がPRできるよう、さまざまな機会や場を活用したいと考えております。貴重なご意見を、ありがとうございます。

・前田委員長 よろしいでしょうか、他にございませんか。

・米委員 館山市への災害応援について、続けて質問します。現地の復興もだいぶ進んでいると思いますが、報道等を見ると、まだブルーシートを被った家屋が多く残っているようです。三郷市からの支援活動は、現在も継続しているのでしょうか。

・水道部長 ただ今頂いた質問について、回答いたします。水道部からの応援につきましては、電力及び水道の復旧に伴い、終了いたしました。しかしながら、災害により行政需要が発生し、館山市職員では人員が不足したため、本市からも職員の派遣を行っております。全国から自治体職員が派遣され、被災状況

の調査や罹災証明の発行を行っていましたが、現在ではだいぶ規模も縮小しております。

・前田委員長            よろしいでしょうか、他にございませんか。

・小島委員            報告事項⑤について、質問します。資料8「広報・啓発活動について」を見たところ、非常に多くの方が参加をされていますが、どれくらいの方が参加されているのでしょうか。

・総務係長            ただ今頂いた質問について、回答いたします。こちらのイベントは、例年多くの方から参加の応募を頂いており、今年度は54名の応募者のうち、抽選で選ばれた34名の方が参加されました。

・前田委員長            よろしいでしょうか、他にございませんか。

それでは、私からも報告事項④につきまして、委員の皆さまに対して視察研修の感想をお伝えしたいと思います。

今年度視察を行った八ッ場ダムは、視察を行った10月8日時点では、ちょうど試験湛水が開始したばかりで、まだダムにはほとんど水が貯まっておりませんでした。その後発生した台風19号による豪雨で、一夜にしてダムが満水となり、報道等でも取上げられ広く話題となりました。このことで、台風19号による猛烈な豪雨を改めて実感したと共に、試験湛水開始直後のダムを視察できたことについて、大変よい経験になったと実感しております。

つきましては、委員の皆さまにも、来年度はぜひ視察研修へご参加いただくと共に、事務局の皆さんにおきましても、早期の日程連絡等の事務調整を、よろしく願いいたします。

・水道部長            貴重なご意見をありがとうございます。事務調整につきましては、委員の皆さまがなるべくご参加しやすいよう、努めてまいります。お話にもございましたとおり、実際にダムや水道関連施設を見ていただくと、その規模や、成立ち、私たちの日々の生活とのかかわりについて、身をもって体験していただけます。私からも、なるべく多くの委員のみなさまに、ご参加いただけるよう、重ねてお願い申し上げます。

・前田委員長            よろしく願いします。

私からは以上でございます。他にございませんか。



じた場合であっても、基幹管路は複数系統あることから、他の経路から水が回りこむことで、給水を継続することができます。市の末端においては、水圧の低下による、出水不良が発生する恐れはございますが、大規模な断水をかけずとも、修理対応等は可能と考えております。

・前田委員長            よろしいでしょうか、他にございませんか。

・前田委員長            それでは、これをもちまして議事等を終了させていただきます。委員の皆様にはご協力ありがとうございました。  
   進行を事務局にお返しします。

## 5. 閉会

署名委員            吉川 淳 

署名委員            山崎 敏治 